

1. 科目名 (単位数)	社会 (2単位)	3. 科目番号	EDEL3306
2. 授業担当教員	池田 芳和		
4. 授業形態	講義、演習、実習等を織り交ぜる。	5. 開講学期	春期
6. 履修条件・他科目との関係			
7. 講義概要	<p>小学校社会科の教科の目標は、「社会的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の形成者に必要な公民としての資質・能力の基礎を養う」という柱書部分と、「知識及び技能」、「思考力、判断力、表現力等」、「学びに向かう力、人間性等」の三つの柱に沿った資質・能力に関わる具体的な目標で構成されている。本講義では、今回の改訂のねらいと目標、小学校社会科の目標と内容等について学修する。特に、各学年の目標と指導内容の特色等について具体的に検討する中で、習得型の知識と探究による知識活用について学び、社会科と各教科等との関連についても理解を深める。さらに、社会科学習に必要な学び方や調べ方を身に付ける学習や体験的な学習、問題解決的な学習を一層重視する社会科学習の在り方についても検討していく。</p>		
8. 学習目標	<p>「社会」の学習が終了した時点で、学生には下記の目標を達成することが期待される。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 小学校社会科の意義、目標、及び各学年の目標・内容を理解し、説明できるようになる。 2. 社会生活の内容について、地理(自然・国土・産業)、歴史、公民の各分野の特徴を述べる事が出来る。 3. 小学校社会科の指導計画作成・学習方法や小学校社会科の評価規準について理解し、説明できる。 4. 授業においては、班活動の重要性を理解し、役割を分担し協力態勢のもとで、調査・体験・作業的な学習や話し合い・発表学習ができる。 		
9. アサインメント(宿題)及びレポート課題	社会科の視点で街を観察したり、情報を活用したりして、小レポートにまとめるなど課題を課す。		
10. 教科書・参考書・教材	【教科書】文部科学省『小学校学習指導要領解説社会編』日本文教出版。		
11. 成績評価の規準と評定の方法	<p>○成績評価の規準 目標の実現度において評価する。</p> <p>○評定の方法 日々の授業態度、参加度 40% レポート課題 60%</p>		
12. 受講生へのメッセージ	自らが感動し、問題をもつことが社会の学習の一步である。この感覚を大切にしながら、社会科教育はどうあればよいか考え、話し合い、自分なりの社会科教育観を創ってほしい。		
13. オフィスアワー	授業日の授業のない時間、随時(一時間目に伝達)		
14. 授業展開及び授業内容			
講義日程	授業内容	学習課題	
第1回	オリエンテーション、社会科でこれまで学んだことを想起し、社会生活に役立っていることは何か、話し合い、発表する。	事前学習	社会科で学んだことを思い出しておく。
		事後学習	社会生活についてマインドマップを作る。
第2回	社会生活では大小の問題解決をしながら生活していることに気づき、社会科の目指す資質・能力との関係を考える。	事前学習	教科書「社会科編」を読んでおく。
		事後学習	社会科教育の資質・能力・特質を整理する。
第3回	社会科の目指す資質・能力が、社会科教育の目標と内容とどのように関連しているのかをグループで考え、社会科教育の構造について考えることができる。	事前学習	社会科の見方・考え方の内容をしらべてくる。
		事後学習	社会科教育の構造をまとめる。
第4回	学習指導要領に示された社会の見方・考え方と社会科の目標・内容・方法との関係について話し合いまとめる。	事前学習	社会科の各学年目標を調べてくる。
		事後学習	目標の構造を整理してくる。
第5回	社会科の各学年の目標・内容から三つの見方・考え方(位置や空間的な広がり、時期や時間の経過、事象や人々の相互関係)を概観し、バランスよく構成されていることに気づく。	事前学習	教科書「社会科編」から内容等を縫い書きする。
		事後学習	内容を系統的に整理する。
第6回	見方・考え方の一つである「地理的環境と人々の生活」について、3年、4年の学習内容の違いについて調べ、対象の広がりを理解する。	事前学習	系統的にした内容を学年ごとにわけける。
		事後学習	小学校における地理的な学習についてまとめる。
第7回	見方・考え方の一つである「地理的環境と人々の生活」について、3年、4年の地図を用いた学習について調べ、その取扱いを理解する。	事前学習	3・4年生の学習内容を調べる。
		事後学習	小学校における地図指導の要点をまとめる。
第8回	「現代社会の仕組みや働きと人々の生活」について、各学年の内容から一つ選び、内容を調べ、どのような視点を育てようとしているのかを話し合い、まとめ、発表する。	事前学習	「現代社会の仕組みや働きと人々の生活」の内容をしらべる。
		事後学習	「事象や人々の相互関係」の視点をまとめる。

第9回	「歴史と人々の生活」について各学年の内容から一つ選び、内容を調べ、どのような視点を育てようとしているのかを話し合い、まとめ、発表する。	事前学習	「歴史と人々の生活」について調べる。
		事後学習	3～5年の「歴史と人々の生活」についてまとめる。
第10回	「歴史と人々の生活」について、近代日本の歴史について調べ、その特徴をまとめる。どのような視点を育てようとしているのかを話し合い、まとめ、発表する。	事前学習	日本史年表を作成する。
		事後学習	人物と歴史的な事柄との関連をまとめる。
第11回	現代社会の働きと人々の生活の目標と内容 我が国の産業の様子について調べ、生産・消費生活の現状とこれからについて考察できる。	事前学習	教科書の指導案を例に、自分の選んだ人物を調べる。
		事後学習	人物と歴史事象との関連から、学びの中心概念をまとめる。
第12回	人物中心の歴史学習を進めるために(人物の資料収集) 学習指導要領に示された人物について調べ、業績を発表しあい、時代の特徴を知る。	事前学習	日本国憲法について調べる
		事後学習	小学校で取り扱う内容をまとめる。
第13回	資料の収集・読解・活用を通して、公民的な資質・能力を高め、科学的な思考・判断・行動ができるようにすることが重要である	事前学習	印象に残っている資料を探してくる。
		事後学習	資料と思考との関連についてまとめる。
第14回	指導と評価の一体化 …社会科の指導と評価の一体化を目指して、評価方法を学ぶ。	事前学習	評価の在り方についての答申を読んでくる。
		事後学習	新しい評価の方法をまとめる。
第15回	小学校社会について、春学期に学んだことを整理して、自分なりの社会科の学習観を持てるようにする。	事前学習	社会科学習の構造を考える。
		事後学習	社会科教育の改定点についてレポートをまとめる。